

# 国際交流員ダンコー・アンドレアさんの HAJRAKANUNO!

※「ハイラー」はハンガリー語で「運搬車」の意味



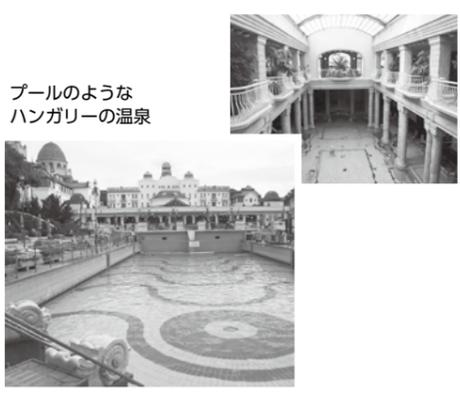
6月に入りました。今月は、聖火リレーが鹿角に来るらしいです。ずっと見たかったです。残り2カ月ほどでオリンピックが始まるそのうです。期待しましょう。今回、私にとって重要なカウントダウンについて書きたいと思います。

私の国際交流員としての任期が残り4カ月となりました。広報の記事はあと2回です。去年の春ごろから、もともと予定していたことができなくなり、予定が大幅に変わってしまいました。交流できる範囲や人数などが減少し、体験や紹介できる機会が少なくなりました。しかし、他の地域に比べ、鹿角でできることが多くてよかったです。

具体的な例を一つあげると、温泉です。ハンガリーでは1年前からすべての温泉が閉まっています。日本の温泉は営業していたため、楽しむことができました。特に印象的だったのは、もみじと一緒に入る露天風呂、雪やツララで囲まれた静かな風景、シャワーがない昔ながらの温泉、温泉から立ち上る蒸気などです。ハンガリー

の温泉は自然のイメージではなく、プールに近いものです。詳しくは、6月10日から大湯の「湯都里」で開催する写真展で紹介いたします。ほかに、6月6日にハンガリーの遊び体験と毎月開催されるおしゃべりカフェ、ハンガリーの日本語教室に通う生徒とのオンラインおしゃべり会があります。7月は、文化の交流館コモッセでハンガリーの画家による水彩画と日本の俳句会の作品を展示します。詳しくは、国際交流員、または国際交流協会までお問い合わせください。皆さんの参加を待ち切ります。

フェイスブック公開中。「鹿角 CIR ダンコー・アンドレア」で検索してください。



プールのようなハンガリーの温泉

## 世界遺産登録に向けて

大湯ストーンサークル館 ☎ 37-3822

# 世界遺産

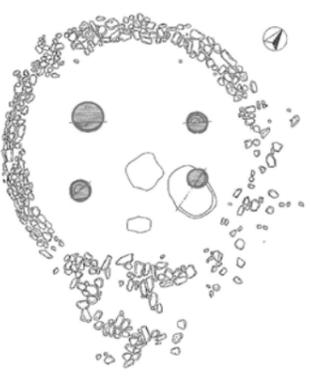
## 大湯環状列石

### 世界遺産登録に向けた取り組み



## 大湯環状列石の遺構③ 「環状配石遺構」

大湯環状列石には、万座と野中堂2つの環状列石が形成されたあとに「環状配石」がつけられるようになっています。直径約7、10メートルの環状に石が並び、張り出し部が1カ所ある構造になっています。全部で17基見つかっているこの遺構は、万座環状列石の北側にだけ形成され、「こ」の字状の配置になっています。環状配石遺構の張り出し部は「こ」の字の中心を向く配置ですが、発掘調査では中心から特別な遺構は見つからず、なぜこのような配置になったのかはわかっていません。環状配石内部には柱が立っていた跡があり、また炉の跡も見つかっていることから、縄文時代当時は覆屋を持った建物だった可能性があります。用途は分かっています。



401号環状配石遺構 平面図

## 会社概要



- 所在地 十和田大湯字中谷地19
- 設立 平成30年4月2日
- 代表者 菅原 久典
- 連絡先 ☎22-4184
- ホームページ <http://www.koisuru-kazuno.com>

平成30年4月にオープンした道の駅おおゆの運営管理事業を中心に、鹿角版地域商社として、観光産業・地場産品企画開発・情報発信を行っています。

## かけがえのない縁をつなぐ 大湯のえんがわ

魅力あふれる地元企業を紹介  
鹿角の企業いいね!  
株式会社恋する鹿角カンパニー



代表取締役 菅原 久典さん

## 代表から

代表取締役菅原久典さん  
秋田や鹿角の「食・観光」をテーマに、地元産品の販路拡大、新商品開発などを行っています。現在、鹿角の魅力を詰め込んだ缶詰シリーズ「カツメCAN」を開発しており、近日発売予定です。鹿角の人が「当たり前」と思っているモノ・コトを見つめ直すことで、鹿角の皆さんが誇れるような価値あるものに変えていきます。そんな仕事を一緒にしませんか。

## ウチの会社のここがスゴイ!

苗代沢 鞠果さん

入社して半年になりますが、新入社員の意見も積極的に取り入れてくれるやりがいのある会社です。



産業活力課 観光交流班 ☎ 30-0248、大湯ストーンサークル館 ☎ 37-3822

## 鹿角を知る・伝える

# 市民全員ガイド化計画

市民全員がガイドとして、鹿角の魅力を再発見し、市内外に発信するきっかけとなるよう、市内観光名所や歴史・文化、産業遺産などをシリーズで紹介していきます。

## 「八幡平ドラゴンアイ」

国立公園八幡平頂上付近の雪に覆われた「鏡沼」には、雪解け水と残雪とで水面がドーナツ状に現れる現象が起ります。これが「龍の目」のように見えることから「八幡平ドラゴンアイ」と呼ばれるようになりました。そこに差し込む陽光や空の色などの条件によって、水面の色が青や緑に変化し、沼の中央部分には「黒目」に相当する部分が見えてきます。出現する時期は5月下旬から6月上旬にかけてと非常に短く、エメラルドグリーンの美しいドラゴンアイを見た方はとても幸運だと言われています。

なぜ鏡沼にこのような現象が見られるのか、学術的な理由は明らかになっていません。日々八幡平ガイドとして調査研究をしている方によると、通常湖沼は氷が張った上に雪が積もり、大量の雪が降るため、水面が直接雪に覆われているからではないかという



り、来訪者の増加につながりました。今あるものを違う視点で見ると、新たな鹿角の観光スポットの誕生につながるかもしれません。